



男女がともに活躍できる社会へ



地方議会・地方公共団体における 政治分野に係る 男女共同参画の推進に向けた 取組事例集 (令和3年度)



内閣府男女共同参画局

1 人材育成に関する取組

- ① **北海道苫小牧市**
「公式YouTubeチャンネルで「見てください!聞いてください!女性議員のリアル」を配信」
- ② **東京都豊島区**
「としま100人女子会」
- ③ **神奈川県**
「女性のための社会参画セミナー「かなテラスカレッジ」」
- ④ **富山県南砺市**
「女性議会」
- ⑤ **愛知県犬山市**
「犬山まちづくり自主学校プロジェクト」
- ⑥ **兵庫県小野市**
「おのウィメンズ・チャレンジ塾」
- ⑦ **徳島県**
「とくしまフューチャーアカデミー」
- ⑧ **香川県まんのう町**
「まんのう町女性議会」
- ⑨ **福岡県久留米市**
「女性のための政策参画講座」

2 両立支援に関する取組

- ① **青森県八戸市**
「議会に育児室を設置」
- ② **茨城県取手市**
「オンライン委員会・オンライン会議」
- ③ **群馬県榛東村**
「授乳期間中の女性議員に労働基準法に準じた育児時間の付与」
- ④ **東京都足立区**
「子ども同伴での会議への出席・視察」
- ⑤ **長崎県長与町**
「授乳等に必要なる場所を臨時的に設置」

3 その他の取組

- ① **長野県上水内郡飯綱町**
「議会政策サポーター制度」
- ② **神奈川県**
「本会議における託児サービス」
- ③ **兵庫県**
「親子傍聴席の設置」
- ④ **熊本県**
「ロビー展の実施」

① 北海道苫小牧市

公式 YouTube チャンネルで
「見てください! 聞いてください!
女性議員のリアル」を配信

取組概要

苫小牧市協働・男女平等参画室公式 YouTube チャンネル「自分らしさ応援チャンネル」において、「苫小牧市男女平等参画を推進する市民会議」(座長: 苫小牧市長)が企画したイベントである自分らしさ応援 EXPO のオンライン動画として「見てください! 聞いてください! 女性議員のリアル」をアップした。

動画の内容は、苫小牧市議会議員の女性議員4名による座談会(事前募集した市民からの質問に答える形式)を実施した。市民からは、「議員になるためには費用等はどの程度かかるか」「男性向けの家庭両立へのセミナーをやるべきだと思うがどうお考えか」「女性議員の配偶者について」等の質問が寄せられた。

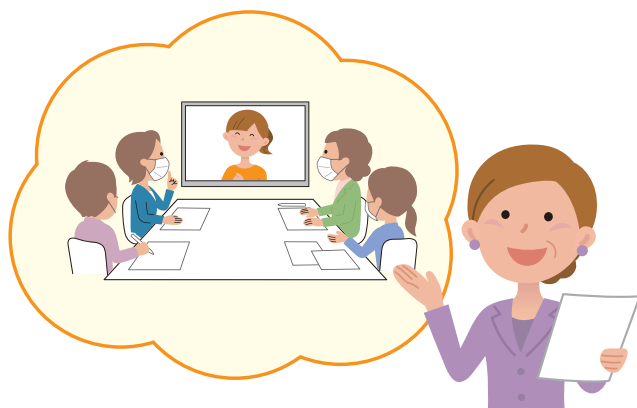


座談会の様子

市民からの質問に答える形式)を実施した。市民からは、「議員になるためには費用等はどの程度かかるか」「男性向けの家庭両立へのセミナーをやるべきだと思うがどうお考えか」「女性議員の配偶者について」等の質問が寄せられた。

実施した背景

市民会議の中で、女性の政治参加がなかなか進んでいないという課題に対して、女性議員の座談会をしてはどうかという提案があり、苫小牧市議会女性議員全4名による対談を行う運びとなった。



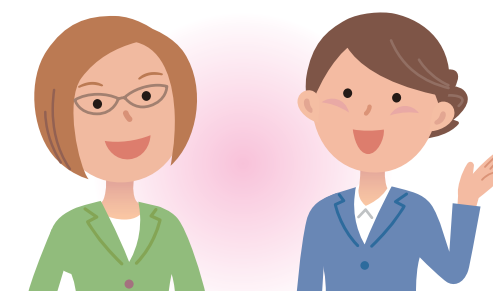
実施主体

苫小牧市男女平等参画を推進する市民会議

実施状況

令和3年度、YouTube の他、苫小牧ケーブルテレビにおいても配信

※ YouTube 視聴回数 124回(令和4年1月21日現在)



本取組を実施した成果

本取組を実施した結果、女性議員同士のネットワーク形成にもつながっている。

② 東京都豊島区

としま100人女子会

取組概要

女性が暮らしやすいまちづくりのさらなる推進を図り、女性の区政参加を促進するため設置された「としまF1会議」のキックオフイベントとして、在住在勤在学の女性100人を集め、「豊島区に住みたくなるには、何があったら良いか」をテーマにワールド・カフェ方式で意見を出し合うイベントを実施した。参加者は、豊島区ホームページや広報誌において募集。



実施した背景



としま100人女子会の様子

2014年5月、23区で唯一「消滅可能性都市」に位置付けられたことを契機に、20歳代から30歳代の女性を中心とした「としまF1会議」を設置し、女性のニーズや意見をまちづくりに取り入れることを決定した。

実施主体

豊島区総務部男女平等推進センター

実施状況

2014年に実施し、参加人数は93名



としま100人女子会の様子



本取組を実施した成果

100人女子会で出た意見や要望を「としまF1会議」に反映し、F1会議での提案は、次年度の事業として一部予算化された。女子会参加者から、「女性目線で街が変わっていく期待が持てた」等の感想が寄せられ、結果的に2名の区議会議員、1名の都議会議員が誕生。

③ 神奈川県

女性のための社会参画セミナー 「かなテラスカレッジ」

取組概要

様々な意思決定の場への女性（議員・審議会委員等、行政・地域・企業等のキーパーソンとして活動する女性）の参画を促進するため、地域や社会の課題を発見し解決するための手法を学ぶセミナーを実施している。受講中にお子さんを預かる託児サービス付き。



募集方法は、チラシを作成し県内の男女共同参画関連施設や図書館に配布するとともにTwitterで周知している。応募者は、直接担当課に電話又は県の電子申請で申し込む。

実施した背景

特定の活動への参画を促すものではなく、社会参画を広く捉え、受講者それぞれが興味関心のあるテーマや活動分野を見つけられるようにすることで、様々な意思決定の場で活躍する女性を生み出すことを目的とし、具体的な行動への一歩を踏み出せるように後押しすることをねらいとしている。

実施主体

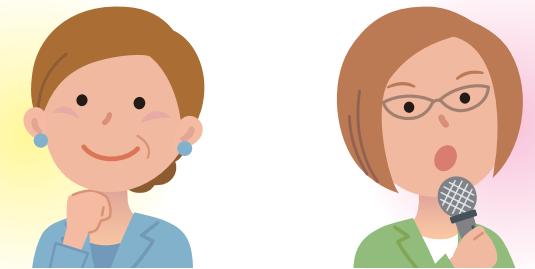
神奈川県立かながわ男女共同参画センター（かなテラス）

実施状況

平成9年から、前身であるかながわ女性センターで「社会参画セミナー『江の島塾』」を開始し、平成27年の施設の移転・名称変更に伴い、現在は「かなテラスカレッジ」となった。大学教授やボイスコンサルタント等から、政策提案や発信力等について講義を実施。座学のみではなく、グループワーク等も実施し、受講生の満足度向上につながっている。令和3年度は6～12月に全10日間対面式で実施した。



講義風景



本取組を実施した成果

令和元年度に直近4年間（平成28年度から令和元年度）の「かなテラスカレッジ」の受講者を対象に行った調査（調査対象者162人）では、回答者（82人）のうち、54人（65.9%）が「現在、なんらかの社会参画活動に参加」と回答し、今後の委員・議員への就任意欲について、36人（43.9%）から「意欲・興味あり」との回答が得られ、実際に、市議会議員に立候補した修了生がいる。

④ 富山県南砺市

女性議会

取組概要

本市では、女性リーダーの育成と活躍を支援し、かつ男女共同参画推進を促すことを目的として女性活躍推進活動事業を実施する団体に補助金を交付している。この補助金対象である南砺市女性団体連絡協議会（日本赤十字等が構成団体）、通称名「南砺市さわやかネットワーク」が、団体の活動の一つとして「女性議会」を実施している。年度当初に団体推薦や公募によって女性議会の参加者を募っている。



実施した背景



第11回南砺市女性議会の様子

女性の資質の向上と活躍の場を広め、男女共同参画社会の推進に寄与することを目的に、各種団体と連携して提言を行うため、「南砺市さわやかネットワーク」が女性議会の開催を計画した。

実施主体

南砺市さわやかネットワーク

※南砺市南砺で暮らしません課は、女性議会議員からの質問を担当課へ割り振ることや連絡調整、議会資料の作成、出席者のスケジュール調整、施設利用のサポートについて協力している。

実施状況

平成21年度に第1回南砺市女性議会（議員18名）を開催し、令和元年度には第11回となる南砺市女性議会（議員14名）を開催した。

※第10回、第11回は、富山県南砺市議会YouTubeチャンネルにおいて視聴可能



第10回南砺市女性議会の様子



本取組を実施した成果

南砺市議会議員として、女性議員4名（うち現職1名）を輩出。その他、南砺市の各種審議会等の委員として参加するなど女性登用率の向上に寄与している。

⑤ 愛知県犬山市

犬山まちづくり 自主学校プロジェクト

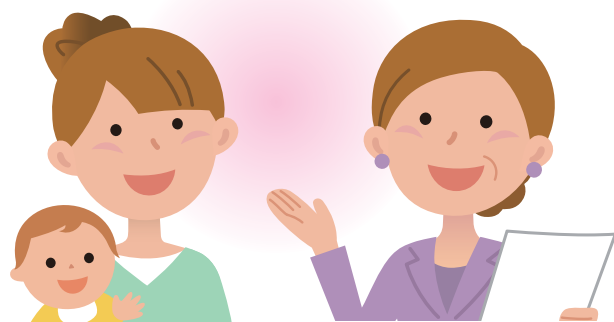
取組概要

政治の仕組みやまちの運営を学ぶと共に、地域で活躍する人材育成の観点も含め、社会の問題に対し、それぞれの立場でどのように関わり、取り組むことができるかを考える場として、市民を対象とした「犬山まちづくり自主学校プロジェクト」を少人数制で開催している。



プロジェクトの様子

実施した背景



子育てをしながらチャレンジをしたい女性を応援し合う活動を目指すNPO法人「にこっと」に委託して実施。
※「にこっと」とは、犬山市で子育てからひろがる・はじめのいっぽを応援するチームとして、2021年1月から活動を実施。

実施主体

犬山市地域協働課(男女共同参画担当課)(受託団体:NPO法人にこっと)

実施状況

市長や元地方議会議員らから「まちづくりの考え方」として、話を聞き対話するプロジェクトを実施。開催場所は市長応接室や図書館、レンタルスペースなど多岐に渡る。令和3年度に5回(10月~1月)実施。



プロジェクトの様子



本取組を実施した成果

延べ49名が参加。
参加者から、「政治の仕組みや問題点など興味深い話が聞けた」、「様々な立場の市民の話が聞け勉強になった」等の意見が寄せられた。

⑥ 兵庫県小野市

おのウィメンズ・チャレンジ塾

取組概要

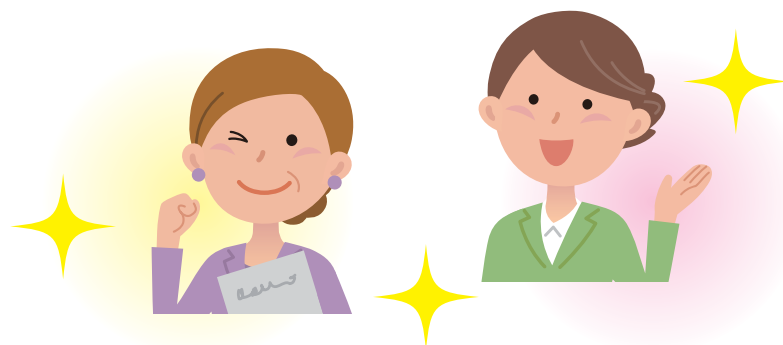
毎年事務局でテーマを決めて参加者を募集。自治会役員など意思決定の場に参画する女性リーダーの育成や、新たな自分の発見、自己実現のためにリーダーとして必要なスキルを身につけるための講座としている。

講座の一環として、元女性首長や他市の女性市議を招き、女性の政治参画への意義についての講演や学習会を開催。



講座の様子

実施した背景



意思決定の場に参画する女性リーダーを育成することを目的として開催。

実施主体

平成22～令和2年度(ヒューマンライフグループ)
令和3年度～(小野市男女共同参画センター)

実施状況

平成22年度～開始。これまでの受講生は延べ173名。

今年度は7～9月の土曜日の午前中に5回開催。テーマは第1回「ジェンダーギャップを考える」、第2・3回「一人ひとりのリーダーシップを磨く」、第4・5回「自分の思いや考えをしっかりと伝えるスキルを身につける」、男女共同参画の基本やコミュニケーション能力、伝わる話し方について学んだ。



講座の様子



本取組を実施した成果

塾生の修了生から女性議員の誕生や、塾生の有志達による学習会や交流会を行う市民活動グループが4団体生まれた。

⑦ 徳島県

とくしまフューチャーアカデミー

取組概要

政策・方針決定過程への女性・若者の参画機会の更なる拡大を図るため、人材発掘及び人材育成機能を備えた実践の場を創設し、女性活躍を推進する研修「とくしまフューチャーアカデミー」を平成30年度から実施している。

また、「TFA(とくしまフューチャーアカデミー)修了生人材活用バンク」(登録者数69人)を設置し、受講修了者を登録し、「県審議会」の委員としての登用や企業・市町村等へ女性活躍アドバイザーや講師として派遣することなどにより、受講修了者が活躍できる場を提供している。



実施した背景

本県は、管理的職業従事者における女性比率(20.1%,平成29年)、審議会等委員の女性比率(50.6%,令和3年)などが全国トップクラスとなっており、政策・方針決定過程への女性の参画は比較的進んでいるところであるが、更なる高みを目指して、女性及び若年層等を主な対象とした人材育成機能を備えた実践の場を創設し、女性活躍の質の飛躍的な向上と裾野拡大を図る。

実施主体

徳島県男女共同参画担当課(徳島県未来創生文化部男女参画・人権課)

実施状況

令和3年度は、10月からジェンダー視点やアンコンシャスバイアス、公共政策についての全6回と、11月からDX実践術等についての全5回、それぞれ令和4年3月にかけて有識者から講義を実施。



本取組を実施した成果

審議会委員等への就任、市が開催している「女性議会」議員への就任、起業、NPO等団体の創設や参加等につながっている。受講修了者数は135人となっている。

⑧ 香川県まんのう町

まんのう町女性議会

取組概要

女性ならではの視点から将来のまちづくりや福祉、教育、子育て、環境などの質問を行い、女性が自分の意見を発することで、政治参画する機会を創出していく。



実施した背景



男女共同参画プランの事業を推進していく上で、女性に町政への関心と理解を深めてもらうこと、女性の声や意見を町政に生かしていくことを目的としながら、魅力あるまちづくりの推進を行い、男女共同参画社会の実現に向けた人材発掘や女性団体等のネットワークづくりを目指すこととした。

実施主体

まんのう町企画政策課(男女共同参画担当) 及び議会事務局



女性議会の様子

実施状況

平成22年から毎年1月に開催。町の男女共同参画推進員が議長を務め、傍聴者約50名が見守る中、町内公民館運営審議会委員及び小中学校(7校)PTAの推薦のほか公募により選ばれた12~13名前後の女性議員が町長や教育長に質問を行う。また、各課の課長役を課内女性職員が務める。女性議員の募集は広報誌による周知の他、各家庭に音声告知放送により行っている。



女性議会の様子



本取組を実施した成果

女性議会で質問した内容が、実際の町の施策に採用されたものもある。「受験生を抱える子どものインフルエンザ予防接種の負担軽減を」に関する質問から、18歳以下についても65歳以上と同様に補助対象になった例等、女性目線からの声が町の施策に取り入れられており、一人の女性の意見が町全体を変えていくきっかけにもなっていることに大きな成果がある。

⑨ 福岡県久留米市

女性のための政策参画講座

取組概要

久留米市では例年「女性のための政策参画講座」を実施している。

政策方針決定過程へ女性の参画を進めるために、その意義についての理解を深め、女性が活躍することができる環境の整備及び、女性自身の意欲と能力を高め、あらゆる分野への積極的参画につなげるきっかけづくりを行うことが目的である。



実施した背景



男女共同参画社会を実現させるためには、あらゆる分野における政策・方針決定の過程で男女が対等に参画することが必要である。しかしながら、政策や意思決定の過程に女性の意見が十分に反映できる機会が確保されているとは言えない。

また、女性自身がそのような場に参加することに消極的であるという現状もある。

実施主体

久留米市男女平等推進センター

実施状況

令和元年度は3部構成とし、第1部で大学教授から女性の政治参画の意義について講義を実施。第2部、3部では、久留米市の市民文化部長、健康福祉部保健所長から、市の具体的政策について講義を実施。質疑応答の時間を30分程度設け、活発な質疑が交わされ、参加者が政策に参画する機会となった。参加者は延べ75名のうち女性は58名。令和2年度及び令和3年度は大学教授を招き、講義を実施。参加者は延べ110名のうち女性は85名。第2部以降は新型コロナウイルス感染症のため、中止。



本取組を実施した成果

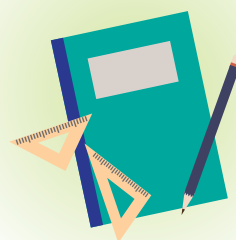
参加者の一人が政治スクールに通ったことや自ら勉強会のグループを立ち上げたことなどがあった。

① 青森県八戸市

議会に育児室を設置

取組概要

平成31年3月定例会から
議会に育児室を設置。



実施した背景



女性議員の妊娠・出産に伴い、当該女性議員が所属する会派から議長に対して、議員が今後、議員活動・議会活動を行うに当たり、議会内での育児環境について配慮をお願いしたいとの申入れがあり、協議の結果、平成31年3月から、空き部屋となっていた議員談話室を育児室として使用できるよう、畳の表替えや障子の張替え、照明を明るいものに交換してもらうなど、最低限の環境を整えたもの。

実施主体

八戸市議会事務局



育児室の様子



実施状況と本取組を実施した成果

会議がある日は育児室を開放しており、自由に使用可能。子どもの年齢制限もない。使用中は、扉に「使用中」の札をかけ、他の人が無断で入らないようにしている。
実際に親子連れの利用実績はないものの、妊娠中の議員が休憩をとる際や、産後の搾乳の際に使用されている。議会中のみならずその他の議会活動でも利用可能。

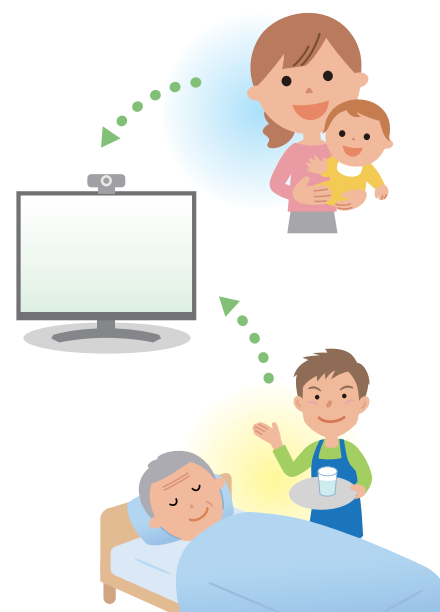
② 茨城県取手市

オンライン委員会・
オンライン会議

取組概要

令和2年第3回定例会において、市議会会議規則、市議会委員会条例を改正し、災害の発生、感染症のまん延等のやむを得ない理由がある場合に、オンライン委員会の招集、出席を可能にした。また、妊娠、出産、出産立会い、介護、自らの疾病等、議会の欠席事由に該当する際、オンライン出席を委員長の許可により認める旨を同年2月15日に追加する改正をした。

オンライン上で説明、質疑、委員間討議、討論、採決すべての議事が可能(秘密会を除く)。オンラインビデオ会議システムを用い、視察研修や現地調査も現地に行く人数をゼロもしくは最小限とし、在宅でインターネットにより実施。これにより、経費削減、時間的効率化が図られるとともに、妊娠、出産、育児、看護、介護に対応しながら調査研究を実施することが可能。



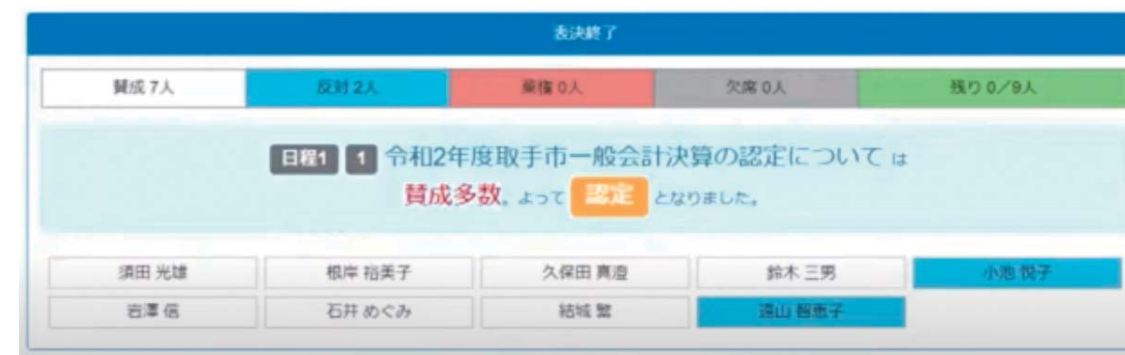
実施した背景

タブレット端末を市議に貸与している。

アプリケーションの表決システムを導入し、オンライン採決を実施。オンライン採決のなりすまし防止のため、その日限りのワンタイムパスワードを送付し、採決前に議員に入力してもらう。その際、周りに誰もいないことが確認できるようバーチャル背景の設定は不可(ぼかし背景は、災害時に避難所等から避難者の顔などが映らないよう配慮するため許可)としている。オンライン参加は、当日の委員会開始前に申し出れば可能。



令和3年10月21日 福祉厚生常任委員会(オンライン開催の様子)



令和2年9月15日 一般会計決算・予算審査特別委員会におけるオンライン採決の様子
※採決態度を表していない委員は緑色、表決済みの委員については、賛成であれば白色、反対であれば青色で表示される。

実施主体

取手市議会事務局

実施状況

- ・オンライン委員会開催実績 44回
- ・オンライン会議システム使用実績 98回
- (内訳) 公式の委員会 44回
- 感染症対策会議 19回
- 定例会議案事前説明 10回
- オンライン視察受け入れ 25回



本取組を実施した成果

感染拡大防止の観点から、会議室に参集せずに、オンラインでの委員会に議員、説明員、議会事務局職員、請願提出者、参考人が出席した。また、令和2月15日の市議会委員会条例改正により、今後は、「オンラインであれば出席できる」ことを可能とし、より議会・議員活動を維持向上できることとなった。

③ 群馬県榛東村

授乳期間中の女性議員に
労働基準法に準じた育児時間の付与

取組概要

令和3年12月に会議規則を改正し、議員が生後満1年に達しない子を育てる場合は、本会議中に2回それぞれ少なくとも30分、その子を育てるための時間「育児時間」を議長に請求することができる。「育児時間」の間、議会は中断され休憩に入る。

授乳場所については、自宅や議会内の会議室等を想定。授乳場所が自宅の場合、移動時間も考慮し、休憩時間を45分とする等個別に対応可能。



実施した背景



本村議員2名が昨年8月・9月と続けて出産。本議員の議会活動と授乳を両立させることに苦労した経験を踏まえ、労働基準法の育児時間の規定を参考に、会議規則に育児時間を取得できる旨の規定を追加。

本取組を継続させていくため、議員による申合せではなく会議規則に明記した。

実施主体

榛東村議会事務局

実施状況

令和4年3月定例会で取得実績があるほか、運用上、委員会及び全員協議会などでも取得を可能にしている。令和3年12月定例会では、議会閉会后、全員協議会が始まるまでの間、この規定に準じ、約45分の時間を設け、授乳のために時間をとった。



議長室で議長と懇談する育児中の女性議員

榛東村議会会議規則(抄)
(育児時間)

- 第2条の2 議員が生後満1年に達しない子を育てる場合は、会議中に2回それぞれ少なくとも30分、その子を育てるための時間(以下「育児時間」という。)を議長に請求することができる。ただし、会議時間が変更されたときは、この限りではない。
- 2 議長は、前項の請求があったときは、休憩するものとする。
 - 3 育児時間の請求は、文書又は口頭をもって行う。



本取組を実施した成果

対象議員2名とも自宅が近いため、自宅に戻り授乳し、再び会議に参加した。議会と家庭生活の両立が図れたものと考えている。

④ 東京都足立区

子ども同伴での
研修・視察等への参加

取組概要

平成30年に、議員研修会や議員連盟などの会議は子ども同伴で(原則1歳まで)出席でき、視察の際も自費でベビーシッターを確保し、子ども・ベビーシッターの宿泊・交通費を賄う等などの対応をとれば子ども同伴での移動や宿泊等を認めることとした。

※視察先自治体での調査の際は同伴できない。

また、託児が必要な議員・傍聴者のために、子どもの保育や授乳・搾乳を行えるよう、議会棟内の1室を託児室として活用し、本会議・委員会を傍聴できるようにした。

本会議は、テレビモニターによる視聴、各委員会は音声を聞くことができるようにした。



実施した背景



区議会として、「議会活動と妊娠・出産・育児等」について協議がなされ、両立支援に係る取組を進めていくことが全会一致で確認されたため。

実施主体

議長や委員長の許可を受けて実施



実施状況と本取組を実施した成果

子どもを連れての利用実績はないが、妊娠・出産・育児中の議員が活動しやすい環境整備が整った。

⑤ 長崎県長与町

授乳等に必要な場所を
臨時的に設置

取組概要

議員が授乳等の場所が必要になったとき、議員休憩室として利用している和室を授乳室として利用することができるよう、授乳スペースの確保を行っている。議会開会中のみならず、議員が議員活動中の場合、付き添いと子どものみでも部屋の利用が可能。



実施した背景



「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が制定され、男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指すことになり、この分野への取組が不可欠であると考えた。現状において本町議会が取り組むことができる両立支援の取組として、必要な際に授乳室として利用できる空間を確保することとしたもの。

実施主体

長与町議会事務局

実施状況

利用実績はなし。



議員休憩室(和室)の様子



本取組を実施した成果

現時点では利用実績はないが、男女共同参画の推進の観点から、将来の議会運営に向け必要な準備の一つに取りかかることができた。将来的には、該当議員の意見を参考としながら、議会としてさらに両立支援の取組を行っていきたい。

①長野県上水内郡飯綱町

議会政策サポーター制度

取組概要

町民と議会との協働により町政発展の政策提言に取り組み、新しい知恵と創意を結集して町づくりのための政策立案を目的として、議会政策サポーターを設置し、2~3年に1回程度の割合で会議が開かれている。

議会政策サポーターの募集は、公募（議会報等による周知）や議員の勧誘による。



実施した背景



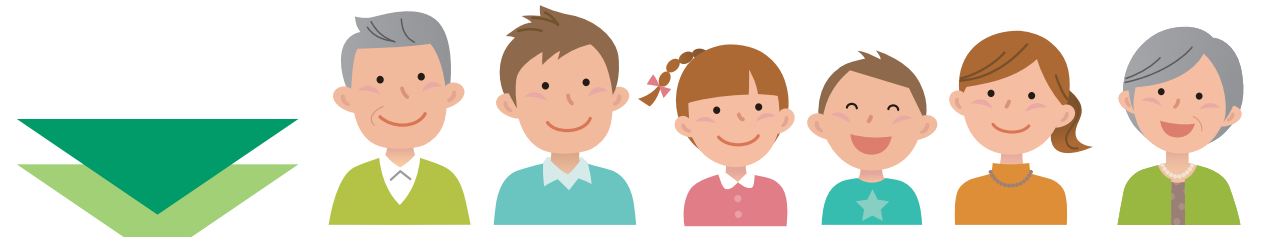
開かれた議会を目的として議会活動への町民参加を広げるため、また、議員定数が減る中で、町民の知恵も借りながら政策づくりを協働で進めるため、取組を開始。

実施主体

飯綱町議会

実施状況

平成22年に初めて実施以降、第2次を25年、第3次を27年、第4次30年、直近では第5次を令和3年2月に開催。第5次の参加者は町民13名（公募1名：勧誘12名）（男性8名：女性5名）であった。



本取組を実施した成果

政策サポーター会議内において政策提言書を作成し、町長に提出をしている。政策提言書の中から、政策に反映された例がある。「子育て支援のまち・飯綱町」という政策提言書を平成25年に提出後、平成26年度予算で時間外保育が一部無料となった。また、政策サポーターから4名が町議会議員選挙へ立候補した。本取組は男女共同参画推進という視点が主体の取組ではないが、相乗効果的な結果として、町民からの積極的な意見を町政に反映できたことは、非常に大きな成果である。

② 神奈川県

本会議における
託児サービス

取組概要

本会議において、傍聴人のために、新庁舎内の会議室等を利用した託児サービスを提供。当該サービスは、申し出があった場合に保育サービス事業者に委託して実施。県民へは広報紙において周知を行っている。



実施した背景



子育てをしている方々の社会参加を支援するため、県の「県が実施する事業（講座、フォーラム等）における託児に関する方針」に準じ、神奈川県議会においても、参加者の子どもを一時的に保育する託児サービスを提供している。

実施主体

神奈川県議会議会局



託児サービスの様子



実施状況と本取組を実施した成果

令和3年度の本会議において、0名、
令和2年度の本会議において、2名、
令和元年度の本会議において、6名の利用があった。

③ 兵庫県

親子傍聴席の設置

取組概要

傍聴者への配慮のため、児童及び乳幼児が傍聴席へ入ることができない旨を記した傍聴規則を改正するとともに、防音機能を備えた親子傍聴席を整備。



親子傍聴席の様子

実施した背景



議会改革において、多様な県民の意思の調整を図り県政に反映させる観点から、議会事務局の発案により、親子傍聴席の設置などの傍聴環境の充実を図るに至った。

平成27年9月に児童・乳幼児が傍聴席に入れるよう傍聴規則を改正し、ベビーベッドを設置、平成30年2月には防音機能を備えた親子傍聴席を整備した。

実施主体

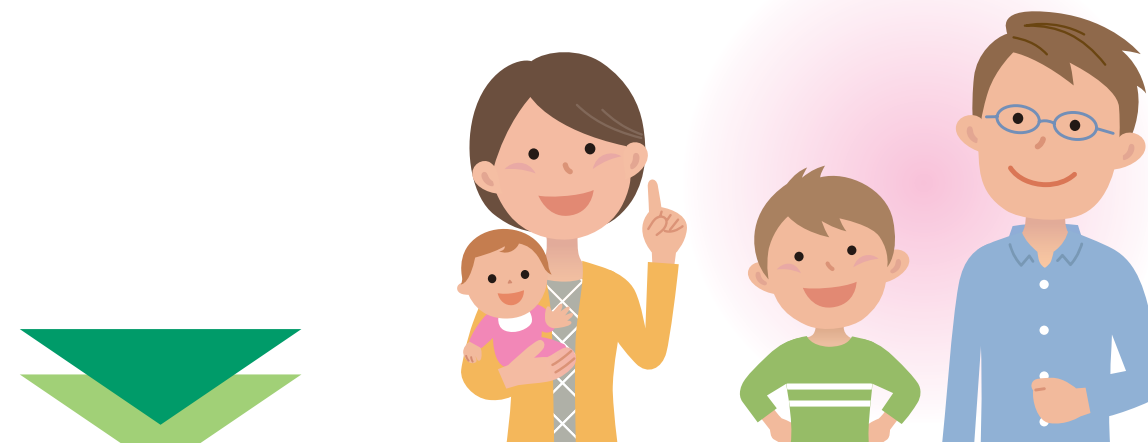
兵庫県議会事務局

実施状況

令和3年2月定例会において2件6人(大人3人、幼児3人)が利用。設置以降、毎年2~3件の利用があり、親子連れの県民などが利用している。



親子傍聴席の様子



本取組を実施した成果

幼い子ども連れの方が気兼ねなく傍聴でき、幅広く県民が本会議を傍聴できる環境を整えることができています。

④ 熊本県

ロビー展の実施

取組概要

熊本県指定管理の男女共同参画センターで、男女共同参画週間に合わせて、政治分野に関する啓発パネルをロビーに展示。「女性の政治参画～政治分野における男女共同参画を目指して～」というテーマで、国会議員の女性議員比率や諸外国の政治分野での取組など、表やグラフも交えながらまとめ、ロビー展として開催した。

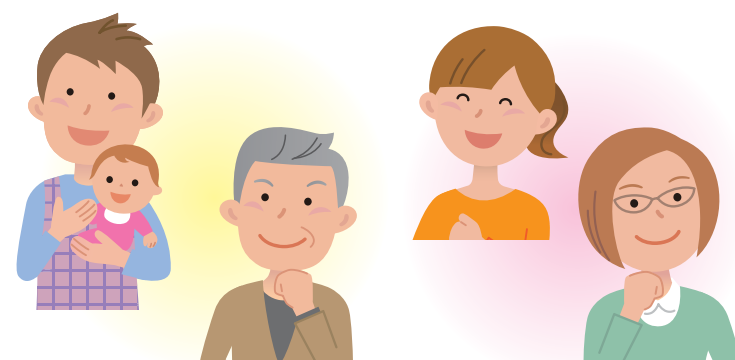


併せて、より多くの人々の目に触れるようクイズ形式にした「チャレンジ! 男女共同参画クイズ」というパネルを男女共同参画センターと併設している県内百貨店の地下通路に展示。地下通路のクイズで興味を持ってもらった人を、男女共同参画センターで実施しているロビー展へ誘導する工夫も実施。



男女共同参画センターにおけるロビー展の様子

実施した背景



女性の政治参画についてまずは関心をもってもらい、女性の政治参画を推進するため。

実施主体

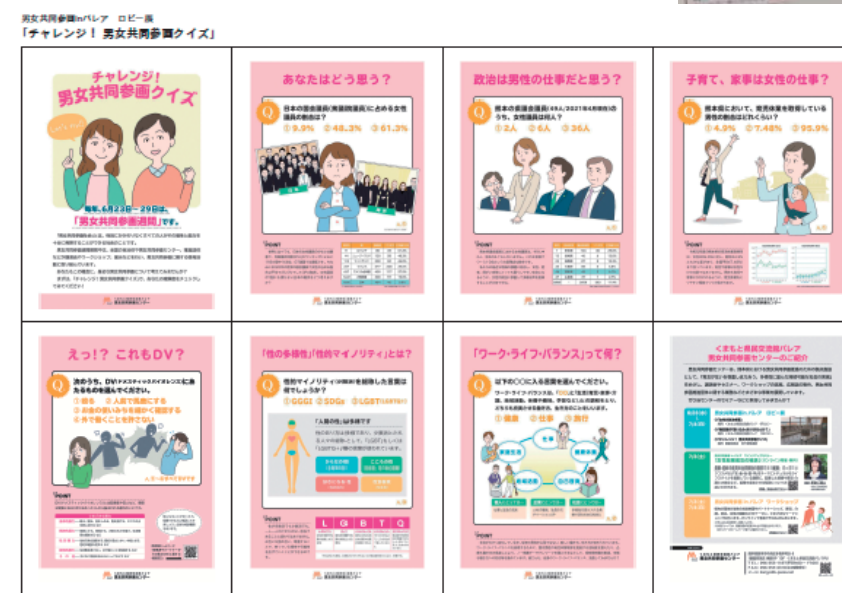
熊本県男女共同参画センター

実施状況

令和3年6月23日(水)～7月4日(日)
男女共同参画週間に合わせて実施。



隣接する百貨店地下連絡通路における「チャレンジ! 男女共同参画クイズ」



本取組を実施した成果

クイズを展示した地下連絡通路は、百貨店の駐車場につながっていることから、百貨店を訪れた多くの人が見学した。また、男女共同参画センターも県内百貨店と併設していることから、多くの人々がロビー展を訪れた。